

気づきつなぐフェスティバル
1月21日(土) 御代志市民センターで、栄保育園児によるオープニングが始まり、「ワーク・ライフ・バランスくしあわせな合志市をつくらう！」をテーマに6名のパネルディスカッションがあり、同時に子ども向けイベントも開催されました。



熊本市議会議員研修会
2月6日(月) KKRホテル熊本で、市議会議員研修会が開催され、同志社大学教授・新川達郎氏の「災害時における議会の対応」についての講演がありました。



竹迫初市
3月5日(日) 今回は、原点回帰をテーマに合志中央団地前の道路等に会場を久しぶりに戻して、盛大に開催されました。



菊池恵楓園「希望の鐘」除幕式
3月27日(月) 菊池恵楓園で、佐賀県から寄贈された「希望の鐘」の除幕式がありました。以前の鐘は昭和26年に設置され、社会復帰者がこの園を去っていく際、見送りの意味を込めて鳴らされていたものです。



小中学校入学式
4月11日(火) 午前中に各小学校(777人)、午後各中学校(681人)で入学式が行われました。

議会の主な動き

(1月~3月)

- [1月]**
 - 5日 議会広報調査特別委員会
 - 17日 議会広報調査特別委員会
 - 20日 全員協議会
 - 23日 議会広報調査特別委員会
 - 25日 長野県駒ヶ根市議会より「まちづくり会社(株)こうし未来研究所などについて」視察研修
 - 27日 議会広報調査特別委員会
- [2月]**
 - 3日 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会(生涯学習施設等小委員会)
 - 6日 第24回熊本県市議会議員研修会(熊本市) 愛知県大治町議会より「震災における被災状況及び復旧状況について」視察研修
 - 13日 議会運営委員会
 - 17日 全員協議会
 - 23日 議会運営委員会
 - 第1回(3月)定例会開会
 - 27日 議会広報調査特別委員会
- [3月]**
 - 3日 財政調査・研究特別委員会
 - 17日 第1回(3月)定例会閉会
 - 議会運営委員会
 - 24日 全員協議会
 - 29日 臨時会
 - 全員協議会
 - 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会(生涯学習施設等小委員会)

一部事務組合行事報告

(平成28年11月~平成29年3月)

- 菊池環境保全組合議会関係**
 - 平成28年
 - 11月29日・菊池環境保全組合議会全員協議会
 - 平成28年第2回菊池環境保全組合議会定例会
 - 平成29年
 - 2月20日・菊池環境保全組合議会全員協議会
 - 平成29年第1回菊池環境保全組合議会定例会
- 菊池養生園保健組合議会関係**
 - 平成28年
 - 11月10日~11日
 - 菊池養生園保健組合議会先進地視察研修(愛知県大府市)
 - 12月27日・平成28年第3回菊池養生園保健組合議会定例会
 - 平成29年
 - 3月10日・平成29年第1回菊池養生園保健組合議会定例会
- 菊池広域連合議会関係**
 - 平成28年
 - 11月29日・菊池広域連合議会運営委員会
 - 全員協議会
 - 平成28年第3回菊池広域連合議会定例会
 - 平成29年
 - 1月11日・菊池広域連合議会総務厚生常任委員会
 - 消防常任委員会
 - 1月13日・菊池広域連合正副連合長・構成市町議会議長合同会議
 - 3月23日・平成29年第1回菊池広域連合議会定例会

災害復旧費用、合志市の負担額は？

神田 公司 議員



神田 来年度一般会計予算、214億500万円のうち市債は21億4500万円。災害復旧関連費用はどのようになるのか。災害復旧事業債などは新たに借入するのか。具体的には合志市総合センターヴィーブルの改修工事(災害対策復旧建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事)は合計で9億2000万円余り。11億円程度かかると推測される中で、新たな追加工事の発生もあり得る。災害復旧対策債での本市の負担割合は、**財政課長** 震災関連の予算は平成28年度一般会計補正予算(第7号)で42億4574万円。平成29年度予算で14億9620万円。災害復旧事業債を借りる場合、後年の元利償還の割合は、市の基準財政収入に応じて最高で85・5%までの交付税措置がある。借りる額と償還期間で率が変わってくる。85・5%で試算すると災害復旧事業債での平成28年度以降の一般財源での負担は1億6400万円。

神田 2月23日の熊日に「復興基金」

第1弾22・5億円 住民利用まだ1割」という見出しで1月末現在の利用状況が掲載された。第2次の復興基金要望は、**財政課長** 復興基金は平成28年度補正予算で認可外保育所利用者支援として142万円。放課後児童クラブ利用者支援として88万円、地区公民館の災害復旧補助として145万円。平成29年度一般会計予算では被災宅地災害支援補助金1000万円、被災消防施設整備補助金250万円、地域コミュニティ等再建補助金1000万円、農地災害補助金1000万円、合計2350万円。総額510億円の復興基金は12月に5つの基本事業と14のメニューが示された。平成29年度は県の予算で112億円、残り362億円の使途は今後検討される。第2次の復興基金の要望は行われていない。



改修工事が始まったヴィーブル

合志市の防災は大丈夫か！

青山 隆幸 議員



青山 本市の自主防災組織の現状と、内閣府が作成を促している「地区防災計画」について伺いたい。市の防災計画とはどう違うのか。**総務課長** 本市の自主防災組織の設置率は76・7%となっている。地区防災計画は各コミュニティ毎に作成する防災計画のことである。両者の強化推進は非常に意義あることと考えている。

青山 昨年6月の一般質問で訊ねた自治体BCPについては喫緊の課題であると思うが、その進捗を伺いたい。**総務課長** 非常時優先業務の整理について、各課にその項目の洗い出しを依頼しているところである。その他の項目については地域防災計画との整合性を図りながら作成を進めているところである。



避難所の様子

青山 本市の避難所はマニュアルがないため大変混乱した箇所もあると聞いているが。**総務課長** 自主避難所・指定避難所等、自治会長等の取り入れ、それぞれの施設に応じて内容を整備していく。

青山 昨年6月の一般質問で提案した防災士育成事業の詳細と今後について伺いたい。**総務課長** 自主防災組織を対象に28名が受講した(市職員7名)。今後は各自治会に2名程度の防災士配置を考えている。

青山 他議員の質問で防災専門官を総務課内に配置する考えが示された件について伺いたい。**市長** 自主防災組織が未整備の地域もあり、また現在ある組織も進化させていかねばならない。地域で活動出来る人材を総務課内に組織して出たらと思う。

青山 自主防災組織の新たな結成や進化、地区防災計画の作成等を、地域の目線でアドバイス出来る人材の配置を強く要望しておく。